

# そうぞう 想像×創造=∞

流山市立おおぐろの森中学校

1学年だより 3月号

令和7年3月24日発行

～ 自分たちで「想像」し「創造」した先にあるものは ～

3月6日（木）に行われた3年生を送る会は、3年生に向けてどのような発表をすれば、3年生に感動を与えることができるか、実行委員が全てを一から「想像」し、5つの部門（ダンス部門、劇部門、呼びかけ部門、装飾部門、大道具・小道具部門）ごとに、1学年の生徒全員で「創造」しました。発表のテーマは、「3年生のこれまでを振り返る」。ダンス部門では、昨年度、今年度、体育祭でダンス賞に選ばれたダンスを踊りました。劇部門では、3年生から修学旅行の思い出のエピソードを集め、オリジナルストーリーを作り、演者がそれらを演じました。呼びかけ部門では、3年生に向けて、感謝の気持ちや、1学年のこれからの決意を伝えました。装飾部門では、3年生のフロア全体を春夏秋冬に飾り付け、3年生の思い出の写真を貼りつける素敵な装飾を作りあげました。大道具・小道具部門では、劇に必要な大道具や小道具をチームごとに役割分担し作成しました。そして、1学年全員で取り組んできたことが、学年合唱です。3年生に思い出を振り返ってもらうために、3年生が合唱コンクールで歌った全6曲の「3年生合唱コンメドレー」、そして、発表のとりはヨルシカの「ただ君に晴れ」を、1学年にとって初挑戦となる四部合唱で歌い上げました。

正直、我々1学年職員も短い準備時間では、難しい挑戦かもしれないと思っていました。しかし、この1学年204名は、そんな我々の「想像」を遥かに超える想像力を発揮し、素晴らしい発表を「創造」しました。特に、学年合唱の「ただ君に晴れ」には、感動させられたのと同時に、この1年間の大きな成長を感じました。

先週13日（木）には、卒業式があり、3年生がおおぐろの森中学校を立派な姿で旅立っていきました。14日（金）には最後の学年集会が行われ、今年度の振り返りを行いました。いよいよ1学年は「2学年」に、先輩になる覚悟を決めるときがきました。今回の3年生を送る会の活動を通して発揮してきた力は、来年度も必ず生きてきます。1学年には「∞」の可能性があります。これからも歩みを止めず、壁にぶつかったときは、全員で「想像」し「創造」することで、「∞」に成長し続けられる学年でいましょう。



～ 来年度に向けて3年生を送る会の振り返りを行いました ～

組・名前	振 り 返 り
1組 安宅さん	3年生を送る会の活動を通して、初めて行うことでも、一人では難しいことでも、仲間と協力すれば、よりよいものを創りあげることができることを学びました。
1組 松井さん	装飾部門の活動の中で、3年生に喜んでもらえるよう、仲間と一緒に「想像」しながら、自分たちの想いが伝わるように「創造」することができたと思います。
2組 深谷さん	準備を進めていく中で、3年生がもう卒業してしまうことと同時に、自分が進級するという自覚が芽生えていきました。 本番は素敵な合唱を披露することができてうれしかったです。
2組 荒木さん	3年生の先輩方に感謝の気持ちをこめて何かを届けたいと思い、学年合唱の伴奏に立候補しました。本番は緊張しましたが、最後まで気持ちを込めて伴奏することができました。
3組 安福さん	3年生を送る会の発表を見て、2年生・3年生の先輩としての姿を見習っていきたいと思いました。来年度、先輩として後輩のお手本となるような姿に成長していきたいです。
3組 島村さん	おおぐろの森中学校での生活が残り少ない3年生に喜んでもらえる、興味を持ってもらえる、癒されるような装飾のデザインを「想像し」、「創造」することができました。
4組 奥谷さん	装飾係として活動に関わってきました。どうすれば3年生に喜んでもらえるかを考え、積極的に意見を出すことができました。3年生の笑顔を見ることができてうれしかったです。
4組 宮崎さん	今回の活動を通して、学校教育目標である「自律」、学年目標の「想像」×「想像」＝∞に大きく近づくことができました。来年度、2年生になっても全力で過ごしていきたいです。
5組 近藤さん	学年の合唱では、クラスだけではなく、「学年」で一致団結することができました。この行事で学んだことをもとに、2年生になる準備ができるようにがんばりたいです。
5組 池本さん	本番、学年合唱が上手くいくか不安でしたが、綺麗な合唱にすることができました。パートリーダーや合唱委員、音取りの仲間が、クラスや学年のみんなを引っ張ってくれていました。
6組 志田さん	劇では、気持ちを出すのが大変でしたが、誰かと一緒に劇をするという経験がこれまでなかったので、とても良い経験ができて、とても楽しく演じることができました。
6組 末永さん	学年の中でも、各部門が違う発表を行いました。一人一人が輝き、全力で活動に取り組んでいたと思いました。また、活動の中で、新しい仲間との関わりも増えてうれしかったです。